

2022年度（令和4年）〈新・珍発見報告〉昆虫のまとめ

いつもたくさんの報告をありがとうございます。結果は身近な足利市の昆虫を知る大切な資料となります。拝見するのを毎年楽しみにしております。

〈絶滅危惧種〉

以下のような絶滅危惧種の報告がありました。かっこはメッシュ番号です。

なお参考までに足利市から知られる絶滅危惧種は、国が67種、栃木県が154種を確認していますが絶滅したものも含まれます。

- ・カワラバッタ（21-69）（栃木県：要注目）
- ・マツムシ（22-65）（栃木県：要注目）
- ・ムカシヤンマ（19-61）（栃木県：準絶滅危惧）
- ・モートンイトトンボ（19-61）（国：準絶滅危惧、栃木県：要注目）
- ・ハルゼミ（19-61）（栃木県：要注目）
- ・オオムラサキ（15-59, 18-62）（国：準絶滅危惧、栃木県：要注目）
- ・ジャコウアゲハ（21-60, 21-62）（栃木県：要注目）
- ・オオセイボウ（19-61）（国：情報不足、栃木県：情報不足）
- ・クツワムシ（栃木県：要注目）気になる生き物の項をご覧ください。

※ムカシヤンマは現物を確認しており、足利市北部の山地には少なくありませんが、報告された（19-61）は貴重な記録です。同所ではモートンイトトンボ、ハルゼミ、オオセイボウも報告されています。

〈外来種や地球温暖化に伴う北上昆虫〉

- 【外来種】・アカホシゴマダラ ・クビアカツヤカミキリ ・ヨコツナサシガメ
【北上】・ツマグロヒョウモン ・クマゼミ ・ハラグロオオテントウ
・ユミアシオオゴミムシダマシ ・クロメンガタズメ

※クマゼミは2021年度（令和3年）の報告に詳しく述べました。

※クロメンガタズメは画像による鑑定依頼をご覧ください。

※ハラグロオオテントウ（写真はレポーターさん以外から寄せられたもの）は急速に分布北上中の昆虫で、栃木県からは初めての記録の一つであるため栃木県の虫の会の会報に報告しました。栃木県からはいまのところ足利市でのみ見つかり、場所は岩井町・川崎町・江川町・利保町・織姫山でかなり広範囲に分布しているようです。

※セイヨウオオマルハナバチという報告がありましたが、特定外来生物のため捕殺してもな

ら問題がありませんので、ぜひ実物を拝見させてください。責任を持って調べさせていただきます。

※昨年報告のあったキマダラカメムシ(外来種)は足利公園に幼虫がいました。現物を確認できましたので栃木県から初めての記録として、栃木県の虫の会の会報に報告しました。



ハラグロオオテントウ

キマダラカメムシ幼虫(足利公園)

《その他》

オオキンカメムシは栃木県2例目の記録となります。詳しくは画像による鑑定依頼をご覧ください。ルリボシカミキリは何回か報告されていますが、以前は自然環境の豊かなブナやミズナラの生える標高の高いところにいたのですが、理由は不明ですが約10年くらい前から足利市のような低標高地でも見つかっています。

レポーターのなかには詳しく名前を調べてくださった方がいました。例えば次のような名前の虫です。ウコンエダシャクク、オオトビモンシャチホコ、ハネナガブドウスズメ、セモンジンガサハムシ、ナシミドリオオアブラムシ、ハグルマトモエ、ルリコシアカハバチ、ハタケノウマオイなどです。名前調べにたいへんなお時間と労力を要したと思われます。おかげさまで貴重な資料となりました。画像による鑑定依頼もたくさんありました。興味深い虫をたくさん寄せてくださいました。こちら足利市の虫を知る貴重な資料となります。